



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■哲学・思想・宗教 >> 哲学

page 1/1

<p>近代自然法国家理論の系譜</p> <p>柴田高好 著</p>	<p>四六判上製／206頁 定価(本体価格2200円+税) 1986年7月刊 ISBN978-4-8460-0003-5</p>	<p>ホッブスからルソー・カントへ マルクス政治学の創造を目指す著者が、ホッブズ・ロックからルソー・スミス・カントにいたる近代自然法国家理論の展開過程を、「自由と権力」の対概念を基軸に据えつつ〈自然法-ヘーゲル-マルクス〉のトリアーデで解析する！</p>	<p>冊</p>
<p>カント研究余滴 断思断想</p> <p>高峯一愚 著</p>	<p>四六判上製／256頁 定価(本体価格2000円+税) 1994年4月刊 ISBN978-4-8460-0271-8</p>	<p>カント哲学に長年取り組んできた著者のエッセイ集。</p>	<p>冊</p>
<p>ブルーについての哲学的考察</p> <p>ウィリアム・H・ギャス 著／須山静夫・大崎ふみ子</p>	<p>四六判上製／210頁 定価(本体価格2500円+税) 1995年9月刊 ISBN978-4-8460-0273-2</p>	<p>セックスが文学にはいこむ五つの方法。ピンチオンやパス等と並ぶ作家、批評家であるギャスが描く、青へのオマージュ。</p>	<p>冊</p>
<p>ヘーゲル 法の哲学 ——自然法と国家学</p> <p>ヘーゲル 著／高峯一愚</p>	<p>四六判上製／376頁 定価(本体価格4500円+税) 1983年5月刊 ISBN978-4-8460-0279-4</p>	<p>ヘーゲルにおける最後の著作である、抽象法から道徳へ、そして倫理＝人倫の体系へ止揚される弁証法的世界観は近代社会を理解する上で最重要古典の地位を占め、また現代社会の変革を志す人々にとって理論的宝庫である。</p>	<p>冊</p>
<p>カント純粋理性批判入門</p> <p>高峯一愚 著</p>	<p>A5判上製／528頁 定価(本体価格4500円+税) 1979年4月刊 ISBN978-4-8460-0280-0</p>	<p>世界の大思想『批判』の訳者が過去15年、三度に亘る改訳の経験を踏まえて、内外の研究史に分け入り、問題の所在を明確にしつつ、平易・精緻に全体を読み込む、書き下ろしの一巻。</p>	<p>冊</p>
<p>フランス的人間 ——モンテーニュ・デカルト・パスカル</p> <p>竹田篤司 著</p>	<p>四六判上製／392頁 定価(本体価格3000円+税) 2000年10月刊 ISBN978-4-8460-0284-8</p>	<p>フランスが生んだ三人の哲学者の時代と生涯を遡る(エッセー)群。近代の考察からバルト、ミシュレへのオマージュに至る自在な筆致を通して哲学の本流を試行する。</p>	<p>冊</p>
<p>純粋経験と禅 ——俳句と『善の研究』をめぐる断章</p> <p>渡邊安夫</p>	<p>四六判上製／319頁 定価(本体価格3000円+税) 2000年3月刊 ISBN978-4-8460-0299-2</p>	<p>西田幾太郎著作の『善の研究』で述べられている純粋経験をもとに、芸術の領域における「おお」を創造の「おお」と鑑賞の「おお」に分け、正岡子規、石田波郷、高浜虚子らの句を考察した遺稿集。</p>	<p>冊</p>
<p>理論と実践の統一</p> <p>牧野紀之</p>	<p>四六判上製／431頁 定価(本体価格4500円+税) 2005年6月刊 ISBN978-4-8460-0308-1</p>	<p>宇野弘蔵、松村一人、梅本克己など、かつてマルクス主義運動を提唱した人々の諸論考を読み直し、認識論の立場から、人間の根本となる理論と実践の関係を再考する。認識なきオルグの誤謬。</p>	<p>冊</p>
<p>ブダペストのミダース王 ——若きルカーチとハンガリー文壇</p> <p>ジュラ・ヘレンバルト 著／西澤龍生</p>	<p>四六判上製／304頁 定価(本体価格3200円+税) 2010年10月刊 ISBN978-4-8460-0837-6</p>	<p>晩年のルカーチとの対話を通じて、20世紀初頭のブダペストを舞台に“逡巡するルカーチ”＝ミダース王の青春譜を描く。亡命を経たのちの戦後のハンガリー文壇との論争にも言及する！</p>	<p>冊</p>
<p>ハンナ・アーレント講義 ——新しい世界のために</p> <p>ジュリア・クリステヴァ 著／青木隆嘉</p>	<p>四六判上製／176頁 定価(本体価格2500円+税) 2015年3月刊 ISBN978-4-8460-1406-3</p>	<p>トロント大学の伝統ある「アレクサンダー・レクチャーズ」で行われた、五回にわたる連続講義の記録。〈生〉というアーレントの核心的概念の綿密な解説と、情熱的な〈語り方〉で種々の誤解からアーレントを解き放ち、現代の課題を引き受けるべく誘うアーレント講義。</p>	<p>冊</p>



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■哲学・思想・宗教 ≫ 思想

page 1/5

<p>民主主義対資本主義 ——史的唯物論の革新</p> <p>エレン・メイクシンス・ウッド 著／石堂清倫／森川辰文</p>	<p>四六判上製／450頁 定価(本体価格4000円+税) 1999年12月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0076-9</p>	<p>古代ギリシアから現代まで、二つの大きな潮流を歴史的に整理し、史的唯物論に基づく資本主義の批判的読解を通して真の民主主義メカニズムの拡大を目指す刺激的論考。</p>	<p>冊</p>
<p>非暴力トレーニングの思想 ——共生社会へ向けての手法</p> <p>阿木幸男 著</p>	<p>四六判並製／300頁 定価(本体価格2000円+税) 2000年1月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0080-6</p>	<p>現代社会の暴力に非暴力で挑む！ボランティア活動、NGO活動、環境教育、開発教育、参加型教育、市民活動に携わるすべての人たちのための変革の思想と手法。</p>	<p>冊</p>
<p>憎悪の樹 ——アングロvsイスパノ・アメリカ</p> <p>フィリップ・ウェーン・パウエル 著／西澤龍生</p>	<p>四六判上製／404頁 定価(本体価格4000円+税) 1995年6月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0098-1</p>	<p>逆光の近代世界史。情報と謀略の森に繁る「憎悪の樹」スペイン「黒の伝説」を免罪符として近代世界を席捲したアングロ・アメリカの過去と現在を暴く刺激的ポレミック。</p>	<p>冊</p>
<p>裸眼のスペイン ——燃えあがる「史」の開頭</p> <p>フリアン・マリアス 著／西澤龍生</p>	<p>A5判上製／662頁 定価(本体価格8200円+税) 1992年6月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0100-1</p>	<p>失われしアイデンティティを求めて…。レットルの裏にかくされた世界の理路。スペイン暗黒伝説はぬれぎぬなのだ。オルテガの高弟フリアン・マリアスの著作本邦初訳。</p>	<p>冊</p>
<p>ニュージーランドの思想家たち</p> <p>ニュージーランド研究同人会 編</p>	<p>四六判上製／366頁 定価(本体価格2600円+税) 2001年3月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0264-0</p>	<p>政治・文化・芸術—様々なジャンルで偉大な足跡を遺した十三名の思想家たちの思想と生涯を通して、ニュージーランドの福祉国家実現への軌跡を明らかにする。</p>	<p>冊</p>
<p>ミューズ ——舞踏と神話</p> <p>ワルター・F.オットー 著／西澤龍生</p>	<p>四六判上製／242頁 定価(本体価格2200円+税) 1998年4月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0277-0</p>	<p>異色の神話学者による晩年の著作2篇の翻訳。「歌うこと、舞うこと、語ること」を称揚する古代ギリシア人の固有のミューズ崇拝を、彼らの宗教・芸術・世界観の総括として明らかにする。</p>	<p>冊</p>
<p>バッハオーフェン ——母権から母方オジ権へ</p> <p>石塚正英 著／石塚正英</p>	<p>四六判上製／288頁 定価(本体価格3000円+税) 2001年11月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0294-7</p>	<p>先史古代の親族組織に観察される母方オジ権の究明に取り組んだ後期バッハオーフェンを遺稿と研究論文をもとに照射し、その学説の先見性と今日的意義を解き明かす。</p>	<p>冊</p>
<p>旅に出て世界を考える</p> <p>宇波彰</p>	<p>A5判上製／276頁 定価(本体価格2400円+税) 2004年4月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0304-3</p>	<p>越境者の目で「日本から世界」を見つめ、「世界から日本」を見つめる果てしない思考のクロニクル。『千年紀文学』『情況』『新日本文学』などに連載発表されたエッセイをまとめ、書き下ろしを加えて単行本化する。</p>	<p>冊</p>
<p>マルクスの(空想的)社会主義</p> <p>牧野紀之</p>	<p>四六判上製／380頁 定価(本体価格2800円+税) 2004年6月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0305-0</p>	<p>マルクス『経済学批判』、エンゲルス『空想から科学へ』のドイツ語原文からの精緻な読解を通して、今日のアカデミズムが提示しえなかった社会主義理念の根元的誤謬を証明する。</p>	<p>冊</p>
<p>京都学派の誕生とシュタイナー ——「純粹経験」から大東亜戦争へ</p> <p>河西善治</p>	<p>四六判上製／454頁 定価(本体価格4800円+税) 2004年8月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0306-7</p>	<p>西田幾多郎・和辻哲郎ら京都学派の哲学者が、シュタイナー思想を如何に剽窃・展開したか。シュタイナー研究30年余の著者が、豊富な資料および新発見資料に基づいて検証する。</p>	<p>冊</p>



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■哲学・思想・宗教 ≫ 思想

page 2/5

<p>植民地主義とは何か</p> <p>ユルゲン・オースタハメル 著／石井良</p>	<p>四六判上製／270頁 定価(本体価格2600円+税) 2005年10月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0309-8</p>	<p>これまで否定的判断のもと、学術的な検討を欠いてきた「植民地主義」。その歴史学上の概念を抽出し、経済学・社会学・文化人類学などの諸概念と関連づけ、近代に固有な特質を抉り出す。</p>	<p>冊</p>
<p>実心実学の発見 ——いま甦る江戸期の思想</p> <p>小川晴久</p>	<p>四六判上製／206頁 定価(本体価格2000円+税) 2006年10月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0315-9</p>	<p>貝原益軒、熊沢蕃山、宮崎安貞、石田梅岩、安藤昌益、三浦梅園、山片蟠桃、大蔵永常、二宮尊徳、渡辺崋山、横井小楠。江戸期に輝く11人の思想について、斯界の権威が平易に核心を解析する。</p>	<p>冊</p>
<p>力としての現代思想 増補新版 ——崇高から不気味なものへ</p> <p>宇波彰</p>	<p>四六判上製／272頁 定価(本体価格2200円+税) 2007年7月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0317-3</p>	<p>言語もしくは記号が機能しえない時代には、崇高なもの、不気味なものが現れてくる。無限記号連鎖からはじまる思考の線上に、哲学、文学、美術といった様々な断片を結びつけ、思想の連関を探り出す。現代思想の新たな展開。</p>	<p>冊</p>
<p>新装版 思想としての右翼</p> <p>松本健一 著</p>	<p>四六判上製／320頁 定価(本体価格3000円+税) 2007年8月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0320-3</p>	<p>右翼はいかに成立したのか。右翼思想の核心とはなにか。思想としての右翼を、人物、歴史、事件、概念から紐解き、そしていまなにが必要とされているのかを問う、時代を震撼させた松本健一の記念碑的著作の新装版。</p>	<p>冊</p>
<p>書評の思想</p> <p>宇波彰 著</p>	<p>四六判上製／400頁 定価(本体価格3000円+税) 2013年5月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0325-8</p>	<p>思想の領域、無意識の世界、言語・記号の世界、歴史の時間、文学・芸術、-約一七〇本の書評を精選収録。書き下ろし書評論も併録。</p>	<p>冊</p>
<p>フーコーを使う</p> <p>ギャビン・ケンダール ゲイリー・ウィッカム 著／山家歩／長坂和彦</p>	<p>四六判上製／336頁 定価(本体価格3000円+税) 2013年11月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0326-5</p>	<p>歴史学、考古学、系譜学、言説、というフーコーの基礎理論から、科学や文化という分析対象への実践的応用へ。同時に、ブルーノ・ラトゥールのサイエンス・スタディーズへの入門としても最適。</p>	<p>冊</p>
<p>帝国を撃て ——平民社100年国際シンポジウム</p> <p>梅森直之 著</p>	<p>A5判上製／202頁 定価(本体価格2500円+税) 2005年3月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0342-5</p>	<p>日露開戦前夜、幸徳秋水、堺利彦ら時流に抗した平民社のメッセージを100年の歳月を超え、あらたな視点で読み解く豪・独・仏・韓・日、気鋭の研究者らの論文集。</p>	<p>冊</p>
<p>小倉芳彦著作選[I] 古代中国を読む</p> <p>小倉芳彦 著</p>	<p>A5変判上製／348頁 定価(本体価格6000円+税) 2003年6月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0350-0</p>	<p>古代中国にかかわって、著者自身がどのようなイメージを抱き育ててきたかを、プロセスに即してたどり直したもの。「古代中国を読む」「贅疣録(抄)」「史記・左伝を読む」の3篇を収録。</p>	<p>冊</p>
<p>小倉芳彦著作選[II] 吾レ龍門二在り矣</p> <p>小倉芳彦 著</p>	<p>A5変判上製／391頁 定価(本体価格6000円+税) 2003年7月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0351-7</p>	<p>中国の古史・古伝説研究家に関する文章や、文革の最中に中国を旅した経験と中国古典に魅力を感じる自分との関係についての省察、中国研究の姿勢を問う「研究評論」など、1970年代に発表した文章を中心にまとめる。</p>	<p>冊</p>
<p>小倉芳彦著作選[III] 春秋左氏伝研究</p> <p>小倉芳彦 著</p>	<p>A5変判上製／538頁 定価(本体価格6800円+税) 2003年11月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0352-4</p>	<p>「中国古代政治思想研究」「諸子百家論」「華夷思想の形成」等、小倉中国学と「左伝」研究に関する諸論文を収録。</p>	<p>冊</p>



▶ご注文先
FAX : 03-3264-5232
 〒101-0051
 東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル
 TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■哲学・思想・宗教 >> 思想

page 3/5

<p>マルクスのロビンソン物語</p> <p>大熊信行 著</p>	<p>A5変判上製/288頁 定価(本体価格4600円+税) 2003年7月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0373-9</p>	<p>ランゲ、ビッグラ西欧の経済学者に先駆けて、マルクス「資本論」第一部第一章第四節に深く分け入り、「ロビンソン物語」の中に「配分原理」を発見した古典的名著が復活。1929年同文館刊の再刊。</p>	<p>冊</p>
<p>丸山思想史学の位相 ——「日本近代」と民衆心性</p> <p>池田元 著</p>	<p>四六判上製/327頁 定価(本体価格3000円+税) 2004年3月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0381-4</p>	<p>存在の底辺へ向かって-。丸山真男の「絶対者」と「共同体=中間集団」の論理に着目し、政治思想史と民衆思想史の結合を試行する内在的批判の書。</p>	<p>冊</p>
<p>ミシュレとグリム</p> <p>ヴェルナー・ケーギ 著/西澤龍生</p>	<p>四六判上製/344頁 定価(本体価格3000円+税) 2004年1月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0410-1</p>	<p>歴史家と言語学者の対話 19世紀半ば、混迷をきわめるヨーロッパ世界を生きた独仏二人の先覚者の往復書簡をもとに、その実像と時代の精神を見事に浮かび上がらせる。</p>	<p>冊</p>
<p>シベリアの河上肇</p> <p>落合東朗</p>	<p>四六判上製/253頁 定価(本体価格2500円+税) 2004年3月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0413-2</p>	<p>1948年夏、シベリアに抑留された著者が、収容所で出会った河上肇の詩「味噌」を出発点とし、不屈の経済学者の豊かな人間性を探る。新たな河上肇像の構築!</p>	<p>冊</p>
<p>グラムシとわれわれの時代</p> <p>片桐薫 著</p>	<p>四六判上製/248頁 定価(本体価格2500円+税) 2008年6月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0685-3</p>	<p>グラムシの思想の原点とは何か?混迷を深める現代にグラムシをどう生かすか?グローバル化・IT社会における新しい“読み方”を示す力作。</p>	<p>冊</p>
<p>引き裂かれた祝祭 ——バフチン・ナボコフ・ロシア文化</p> <p>貝澤哉 著</p>	<p>四六判上製/307頁 定価(本体価格2500円+税) 2008年10月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0693-8</p>	<p>バフチンの「ポリフォニー」、「カーニバル」といった概念、スターリン体制によって切断されたロシア・アヴァンギャルドと「銀の時代」の歴史的な連続性、ナボコフと「亡命」という見取り図。文学と芸術という文化の背景に潜む思想をあざやかに暴き出す。</p>	<p>冊</p>
<p>高山樗牛 ——美とナショナリズム</p> <p>先崎彰容 著</p>	<p>四六判上製/232頁 定価(本体価格2200円+税) 2010年8月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0802-4</p>	<p>小説『瀧口入道』で知られる樗牛は、日清戦争後の文壇に彗星のごとく現れ、雑誌『太陽』で論陣を張る。今日、忘れられた思想家の生涯とともに、〈自己〉〈美〉〈国家〉を照射する!</p>	<p>冊</p>
<p>日本の虚妄 増補版 ——戦後民主主義批判</p> <p>大熊信行</p>	<p>A5変判上製/437頁 定価(本体価格4800円+税) 2009年7月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0864-2</p>	<p>戦後民主主義の虚妄と真実。二〇〇九年、この国の「いま」が果して本書を否定できるのか? 『国家悪』、『家庭論』の著者による問いかけは、いままも新しい!</p>	<p>冊</p>
<p>日本国家科学の思想</p> <p>池田元 著</p>	<p>四六判上製/288頁 定価(本体価格3000円+税) 2011年2月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-0884-0</p>	<p>丸山政治思想史学と民衆思想史学の結合を目指す著者が、戦時中の大熊の「政治経済学」と難波田の「日本経済学」を俎上にあげて、大熊の国家論の基底にある「国家共同体=連帯」論を剔出する。</p>	<p>冊</p>
<p>国家悪 ——人類に未来はあるか</p> <p>大熊信行 著</p>	<p>A5変判上製/432頁 定価(本体価格3800円+税) 2011年7月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-1070-6</p>	<p>太平洋戦争(1941-45年)を壮年期に過ぎた著者が、自らの戦争体験を「告白」と題して世に問いつつ、人間にとって「国家とは何か」を、多くの論文への批判的検討を通して探求する。戦後思想の名著。</p>	<p>冊</p>



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■哲学・思想・宗教 ≫ 思想

page 4/5

<p>天皇論の大観 ——これからの國體觀のために 大熊信行 著</p>	<p>四六判並製/52頁 定価(本体価格1000円+税) 2011年7月刊 ISBN978-4-8460-1071-3</p>	<p>昭和21年に刊行された、当時の天皇制をめぐるさまざまな論議を展望した小冊子を復刻。憲法や天皇制について改めて考える際の基礎資料として、また、関連する問題についての一次資料へのてびきとして活用できる。(初版：山形縣社會教育協會出版係 昭和21年刊)</p>	<p>冊</p>
<p>津村喬精選評論集 ——《1968》年以後 津村喬 著/糸圭秀美</p>	<p>A5判上製/400頁 定価(本体価格3800円+税) 2012年7月刊 ISBN978-4-8460-1138-3</p>	<p>1968年、革命が生んだ思想とは何か! 同時代の中心にいた津村喬の圧倒的に早く、今もってアクチュアルに響く評論を、六八年の現代史批評を展開する。</p>	<p>冊</p>
<p>マルクス政治学原論 柴田高好</p>	<p>A5判上製/488頁 定価(本体価格5800円+税) 2012年7月刊 ISBN978-4-8460-1150-5</p>	<p>市民社会バイアス的アプローチと国家バイアス的アプローチを駆使して、丸山眞男、ウェーバー、シュンペーター、プーランザス、廣松渉らの国家理論を解明し、マルクス国家論の構築を展望する。</p>	<p>冊</p>
<p>もう一つの天皇制構想 ——小田為綱文章「憲法草稿評林」の世界 小西豊治</p>	<p>A5判上製/224頁 定価(本体価格3800円+税) 2012年7月刊 ISBN978-4-8460-1156-7</p>	<p>明治前期に、世界の憲法史上、他に例のない「皇帝リコール」の憲法構想が、なぜ生み出されたのか! 「人民投票による皇帝選出」「廃帝の法則」を含む独創的憲法構想の謎を解く。「江村栄一氏への反論」を追加し、考察を深化!</p>	<p>冊</p>
<p>欧州統合と新自由主義 ——社会的ヨーロッパの行方 フランソワ・ドゥノール/アントワヌ・シュワルツ 著/小澤裕香/片岡大右</p>	<p>四六判並製/296頁 定価(本体価格2700円+税) 2012年8月刊 ISBN978-4-8460-1158-1</p>	<p>この危機の震源はどこから来たのか? ギリシャをはじめ、いま起こっている、ヨーロッパの状況を、欧州統合と新自由主義の帰結として歴史的に解明する。</p>	<p>冊</p>
<p>批評研究VOL.1 創刊号 ——以後の思想</p>	<p>A5判並製/246頁 定価(本体価格1600円+税) 2012年11月刊 ISBN978-4-8460-1162-8</p>	<p>この息苦しい時代を変えようとする者たちのため、『国歌論研究』(1972年~82年)の後継として、新たな批評誌を刊行。華やかではないが、弱くか細い声であれ、社会に対して声をあげていくため、言葉を発し続ける。</p>	<p>冊</p>
<p>移動と革命 ——ディアスポラたちの「世界史」 小沢弘明・三宅芳夫 編</p>	<p>A5判並製/248頁 定価(本体価格2200円+税) 2012年10月刊 ISBN978-4-8460-1178-9</p>	<p>アメリカ、アフリカ、ヨーロッパ、アジアなど、19世紀から20世紀にかけて、そこには「移動と革命」の時代があった。ディアスポラたちが紡ぐ歴史とはなにか。</p>	<p>冊</p>
<p>戦後日本の思想と運動 ——「日本近代」と自己意識 池田元 著</p>	<p>四六判上製/344頁 定価(本体価格3200円+税) 2012年10月刊 ISBN978-4-8460-1183-3</p>	<p>国家や政治を、民衆心性の反映、民衆の共同幻想であると捉え、天皇の戦争責任、住井すゑの戦争責任、丸山眞男と全共闘、尾崎豊と吉本隆明、三塚闘争、秩父事件などを論じる。</p>	<p>冊</p>
<p>アドルノ ——後期マルクス主義と弁証法 フレドリック・ジェイムソン 著/加藤雅之 他</p>	<p>A5判上製/352頁 定価(本体価格3800円+税) 2013年3月刊 ISBN978-4-8460-1209-0</p>	<p>ジェイムソンのアドルノ論、遂に刊行される! ジェイムソンの「歴史」という問題は、アドルノの「全体性」をどのように見つめるのか。ポストモダンという問題のなかで浮かぶ新たなアドルノの姿。</p>	<p>冊</p>
<p>南原繁の共同体論 下畠知志 著</p>	<p>四六判上製/256頁 定価(本体価格2500円+税) 2013年4月刊 ISBN978-4-8460-1227-4</p>	<p>南原繁の主著である『国家と宗教』(1942年)及び『フィヒテの政治哲学』(1959年)を構成する「戦前・戦中」の主要論文を子細に検討し、学問人・宗教人としての南原像を模索する。</p>	<p>冊</p>



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■哲学・思想・宗教 ≫ 思想

page 5/5

<p>京都学派とエコロジー ——比較環境思想的考察</p> <p>松岡幹夫 著</p>	<p>四六判上製／496頁 定価(本体価格4800円+税) 2013年5月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-1234-2</p>	<p>20世紀後半アメリカを中心にしたラディカル・エコロジーの成果と、西田幾多郎・和辻哲郎の思想の比較検証を通して、仏教的な自然・環境観が明示する〈今日的意義〉を提起した力作！</p>	<p>冊</p>
<p>「孟子」の革命思想と日本 ——天皇家にはなぜ姓がないのか</p> <p>松本健一 著</p>	<p>四六判上製／244頁 定価(本体価格1800円+税) 2014年6月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-1342-4</p>	<p>天皇家にはなぜ姓がないのか、それはいつからなくなったのか。日本国家の成り立ち、天皇制のかたちと「孟子」の革命思想とは密接に結びついている。古代より現代に至る政治思想史を〈革命〉の視点から読み解く驚異の書！</p>	<p>冊</p>
<p>近代日本の国家主義エリート ——綾川武治の思想と行動</p> <p>木下宏一 著</p>	<p>四六判並製／244頁 定価(本体価格2500円+税) 2014年11月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-1363-9</p>	<p>時に学者として、時にジャーナリストとして、右派的な言説を絶えず社会に発信し続けた綾川武治（1891-1966）。これまで未詳な点があまりに多かったその思想と行動を、近代日本政治思想史の中に鮮明に跡づける。</p>	<p>冊</p>
<p>「反原発」異論</p> <p>吉本隆明 著</p>	<p>四六判上製／280頁 定価(本体価格1800円+税) 2015年1月刊</p> <p>ISBN978-4-8460-1389-9</p>	<p>1982年刊の『「反核」異論』から32年。改めて原子力発電の是非を問う遺稿集にして、吉本思想の到達点！ 『本書は「悲劇の革命家 吉本隆明」の最期の闘いだ！』（副島隆彦）</p>	<p>冊</p>
			<p>冊</p>
			<p>冊</p>
			<p>冊</p>
			<p>冊</p>
			<p>冊</p>
			<p>冊</p>



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■哲学・思想・宗教 >> 宗教

page 1/2

<p>アーミッシュの謎 ——宗教・社会・生活 ドナルド・B・クレイビル 著／杉原利治／大藪千穂</p>	<p>四六判上製／212頁 定価(本体価格2000円+税) 1996年6月刊 ISBN978-4-8460-0031-8</p>	<p>300年間ライフスタイルを守りつづける人々 アメリカで近代文明に背を向けながら生きるキリスト教の小会派「アーミッシュ」。自動車はおろか、テレビなど電化製品を持たない独特のライフスタイルを、なぜ今日まで守りつづけたのか、数多くの興味ある謎に迫る。</p>	<p>冊</p>
<p>釈尊と日蓮の女性観 植木雅俊</p>	<p>四六判上製／362頁 定価(本体価格2500円+税) 2005年11月刊 ISBN978-4-8460-0311-1</p>	<p>サンスクリット語で『法華経』を読み、鳩摩羅什訳の『法華経』観に疑義を呈し、その男女観に新機軸を打ち立てたあと、日蓮の多くの著作から、その“男女平等思想”を検証する意欲作。</p>	<p>冊</p>
<p>儀礼と神観念の起原 ——ディオニューロス神楽からナチス神話まで 石塚正英</p>	<p>四六判上製／238頁 定価(本体価格2500円+税) 2005年12月刊 ISBN978-4-8460-0312-8</p>	<p>ギリシア神話、フォイエルバッハの唯物論的宗教論、日本神話と縄文土偶、天の岩戸神話、石造文化など、“神的存在”にかかわる民俗を身体=儀礼をキーワードにして検討する労作。</p>	<p>冊</p>
<p>ジャイナ教 ——非所有・非暴力・非殺生 ——その教義と実生活 渡辺研二</p>	<p>四六判上製／374頁 定価(本体価格3800円+税) 2005年12月刊 ISBN978-4-8460-0313-5</p>	<p>およそ二五〇〇年の長きにわたり、インド文化・経済に強い影響を与えつづけ、現在もお篤信の在家信者二三〇万人を擁する“勝利者”の意を冠した究極の平和宗教集団〈ジャイナ教〉のすべてを知る初めての本。</p>	<p>冊</p>
<p>日蓮正宗の神話 松岡幹夫</p>	<p>四六判上製／430頁 定価(本体価格3800円+税) 2006/12/20 (2007/1/20/2011.11) ISBN978-4-8460-0316-6</p>	<p>“正宗”神話の核心を衝く。従来の『日蓮正宗は、現在まで七百年余り、日蓮大聖人の内証を血脈相承してきた正系門下である』という「神話」的見解に、長年の文献精査と現地調査により疑義を呈する労作!</p>	<p>冊</p>
<p>アーミッシュの学校 サラ・フィッシャー／レイチェル・ストール 著／杉原利治／大藪千穂</p>	<p>四六判上製／212頁 定価(本体価格2200円+税) 2004年6月刊 ISBN978-4-8460-0502-3</p>	<p>子どもたちの心に協調性と責任感を育むアーミッシュ。人格形成を重んじつつ普通校以上の学力を授ける学びのあり方を教師が紹介。日本人が忘れていた教育の豊かさを問いかける。</p>	<p>冊</p>
<p>アーミッシュの昨日・今日・明日 ドナルド・B・クレイビル 著／杉原利治／大藪千穂</p>	<p>四六判上製／160頁 定価(本体価格2400円+税) 2009年5月刊 ISBN978-4-8460-0511-5</p>	<p>外の世界とは異なる生き方を選びとった、現代のアーミッシュたち。愛と平和にみちた人々の生活を、美しい写真とともに紹介する。宗教的ルーツ、神話と現実、結婚式など全34章。</p>	<p>冊</p>
<p>法華経の社会哲学 松岡幹夫 著</p>	<p>四六判並製／256頁 定価(本体価格2000円+税) 2010年3月刊 ISBN978-4-8460-0800-0</p>	<p>仏典の中でも特別な地位を与えられ、猶且つ思想書=文学書でもある『法華経』の精髓を「すべてを生かす力」にあると洞察した著者がその理念を基に、「平和と共生」を模索する!</p>	<p>冊</p>
<p>本門佛立講と創価学会の社会学的研究 ——宗教的排他性と現世主義 大西克明</p>	<p>四六判上製／328頁 定価(本体価格3000円+税) 2009年3月刊 ISBN978-4-8460-0860-4</p>	<p>日蓮系新宗教の隆盛の原因を、欧米の「セクト」とは異なる「宗教的排他性」という概念に着目し、アンケート調査を核とする社会学的アプローチを存分に駆使しながら、その謎を実証的に解明する。</p>	<p>冊</p>
<p>血脈破断 ——阿部日顯(アベニッケン)が潰した日蓮正宗 坂口義弘 著</p>	<p>四六判並製／240頁 定価(本体価格1500円+税) 2011年12月刊 ISBN978-4-8460-1107-9</p>	<p>日蓮より700余年にわたる“法主の血脈=富士の清流”は、なぜ“濁流”と化したか?日蓮登座以後、信徒数1780万人が39万人となる。全国各地の寺院を訪ね、100名の取材で明らかとなる真実!“ニセ相承”疑惑の謎を解く。</p>	<p>冊</p>

